

平成14～16年度 教育研究業績書

奈良大学在職期間	1986年	～	現在	氏名	元濱涼一郎
最終学歴	関西学院大学・大学院・社会学研究科・博士課程修了（単位取得）				
取得学位	社会学修士				
所属学会	日本社会学会、日本マス・コミュニケーション学会等				
専門分野	理論社会学				
研究課題	コミュニケーションと社会的空間の研究				
【研究上の特記事項】 2002～2004年度：科学研究費助成「木地屋の定住化を事例とする近代日本の社会統合と集団の機能変化に関する研究」、2001年度：奈良大学研究助成「近代日本の国民国家の形成と地域再編過程に関する社会学的予備研究、2002年度「奈良県十津川村を事例とする近代日本の国家形成期における国内移住の研究」、2003年度「近代日本における国民国家と地域再編過程を事例とする全体社会の構造変化に関する研究」など、日本における国民国家の形成過程のもつ社会学的意義を、社会空間の解体と再編・進化の過程と捉えて、既存の社会学理論の有効性を、具体的な歴史資料を素材に検討している。					
【教育上の特記事項】 研究成果を授業に反映させ、また日本社会を知るための素材として、日本各地で収集した資料を用いて講義をすることを心がけている。					
【社会的活動】 （主要なもの）					
【学内活動】 （学内職歴を含む・主要なもの） 平成16年7月～平成18年3月 社会学部長 平成18年4月～平成19年3月 総合研究所運営委員					

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書)</p> <p>木地屋の定住化過程を事例とする近代日本の社会統合と集団の機能変化に関する研究</p>	単	平成16年3月	科学研究費助成報告書	近世における木地屋組織の社会的機能及びその変化の過程と、彼らが近代国民国家に編入されていく過程を、空間から地域へという枠組みで記述したものである。
<p>(学術論文)</p> <p>社会統合と地域再編：近代日本の国民国家の形成と地域再編過程に関する社会学的素描</p> <p>日本における近代国民国家の形成と地域創出：北海道開拓と十津川移民についての覚書</p> <p>日本における近代国民国家の形成と地域拡大：琉球の統合についての覚書</p>	<p>単</p> <p>単</p> <p>単</p>	<p>平成15年3月</p> <p>平成16年3月</p> <p>平成17年3月</p>	<p>奈良大学総合研究所所報・11号</p> <p>奈良大学総合研究所所報・12号</p> <p>奈良大学総合研究所所報13号</p>	<p>日本の国民国家の形成を、全体社会の解体と再編過程とする社会学的観点で、焦点となる地域の再編過程を資・史料を用いて分析・記述したものである。</p> <p>自然災害の結果、移住を余儀なくされた十津川移民を事例として、近世から近代への移行と再編の過程における北海道開拓の意義を記述したものの。</p> <p>近世における琉球の文化的政治的位置と、明治における日本の近代国家形成に伴う、その統合過程をめぐる国際関係過程と国内問題の所在を明らかにしたものの。</p>